

音楽に学ぶ、生きる力～「曖昧な世界」と向き合う～



Keyword:

音楽表現、深い学び、ワークショップ、異分野連携



創造科学系
音楽教育講座 助教

研究分野: 音楽教育学、ピアノ

田舎片 麻未 (INAKAGATA Asami)

<https://researchmap.jp/dLvb8GtJBOsm2Ara>



研究概要

音楽って、わかりにくい。何の役に立つのか。このような感想をもたれる方がいらっしゃるかもしれません。しかしそこにこそ、音楽を学ぶことの魅力が隠されているともいえます。

音楽家はいかにして「音楽」を学ぶのか

音楽では、しばしば独自の表現が重要視されます。音楽家は、一つの正解ではなく、自分がどのように表現したいのかを探究する過程に、音楽そのものやそれを奏でる身体と向き合うのです。

研究対象であるスウェーデンのピアニスト、ハンス・ライグラフ (Hans Leygraf, 1920-2011) は、「音楽は哲学」であると述べました。技術と表現を往還させる彼の体系的なピアノ指導は、音楽とは何か、表現するとはいかなることかと問い、学び続けるための道筋を教えてください。

音楽科における「深い学び」

学校教育における音楽科の役割を問い直すことも、課題です。音や音楽は、自他の心身や感覚と対話し、その変化に耳を傾ける機会を与えてくれます。新たな知識や技能を習得する過程で、より多くの変化に気づき、主体的に学びを深めることのできる指導・学習の在り方を模索しています。

豊かに生きる：ワークショップの実践（子どもから大人まで）

今、皆さんの周りにはどのような音や音楽が聴こえていますか？ 生活や自己に内在する音や音楽と出会い、音楽的な視点で物事を捉え経験するようなワークショップを実践しています。

アピールポイント

変化が激しく、予測が困難であるとされる VUCA の時代に、音楽はどのような可能性を示してくれるでしょうか。「わかりにくい」とされる音楽の魅力を生かして、思いがけない気づきを引き出し、時間をかけて向き合うことのできる問いを発信していきたいと考えています。

そのために、音楽とは異なる分野の皆さまや、音楽には馴染みのない方々との出会いも大切にして研究を進めています。共同研究やワークショップの実践を通して、地域の皆さまとも音楽的な経験を共有できますことを楽しみにしております。

お問合せ先



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

財務・学術部 学術研究支援課 研究支援係
TEL : 0566-26-2417
E-mail : renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

